

「京丹後市水洗化計画（案）」に対する意見とそれに対する市の考え方

番号	項目	意見要旨	市の考え方
1	経済性を基にした集合処理区域の検討結果について	<p>私たちの住む地域（口馬地、奥馬地、口三谷、奥三谷）が、特定環境保全公共下水道区域から個別処理に変更された検討について。現状から申し上げますと、水道（簡易水道）については、二区（8集落）では小規模な水道施設が5施設と他地区から（川上谷西部水道）の水道で成り立っています。また、いずれの施設についても、老朽化が進み、石綿セメント管が使用されており、このため頻繁な修繕により断水が後を絶たない現状です。このような中で、旧町の時より水道改良については、下水道事業と一緒にやっていくと聞かされており、久美浜（一区）終了後より事業に着手していく説明を受けていた（平成21年以降）。下水道事業という大きな事業をやっていく上で水道の使用水量の増加を踏まえ、水源の検討、老朽施設の改良（施設の統合を検討）による生活基盤の整備こそ市民が求めているものであり、総合的な立場からの検討をお願いする。（集落によっては消火栓が50ミリの所もある）</p>	<p>本計画は「水洗化計画」であり、「水道・簡易水道の計画」ではありません。</p> <p>ご意見にありますように、老朽水道管の改良などのために経済性を無視して集合処理区域にすることはできません。経済性を無視して集合処理区域に入れることになると、下水道事業などの補助を受けることができなくなると考えられます。</p> <p>また、補助を受けずに市が単独で事業実施することは、一層困難なことであろうと考えています。</p> <p>水洗化の個別処理区域における水道老朽管の敷設替につきましては、浄水場および浄水設備もかなり老朽化が進んでいることから、本年度、京丹後市の「簡易水道中期経営計画」を策定し、水道料金の検討と併せ、平成19年度から23年度までの5か年の施設整備計画を定めることとしており、この中で浄水場の整備計画にあわせて老朽水道管の敷設替についても施工年度などの検討ができればと考えております。</p>
2	経済性を基にした集合処理区域の検討結果について	<p>検討結果の中で浄化槽専用排水渠を考慮していたとあるが、私の集落でも公共水路に流せない家があり（集落戸数の1/3程度）、専用排水渠の整備をしなければ将来的には問題の先送りとなる。このような家は、ほかの集落にもあると思われまますので、そのようなことを踏まえて個別処理での検討が必要と思います。今までは集合処理区域で計画されており、そのような問題は出てこない。</p>	<p>下水道事業において、国の補助を受けるためには、国交省・農水省・環境省の「水洗化コスト比較」において、単独処理より経済的でなければなりません。水洗化コスト比較において、浄化槽専用排水渠は考慮されません。その基準を無視して、浄化槽専用排水渠を含めたコスト比較をしても、下水道の補助を受けることはできないであろうと考えています。</p> <p>それぞれの地域に様々な課題があることと思われまますが、市民のみなさんとの協働の中で、解決策を見い出しながら水洗化計画をすすめてまいりたいと考えております。</p>